

しまね伝統芸能祭 2025 高校生神楽フェスティバル

石見神楽部は、令和7年9月14日（日）、15日（月）島根県民会館中ホールにて開催されました「しまね伝統芸能祭 2025 高校生神楽フェスティバル」に参加いたしました。

このフェスティバルは一般財団法人地域創造の助成を受け、公共財団法人しまね文化振興財団（島根県民会館・いわみ芸術劇場）、島根県、TSKさんいん中央テレビの主催、島根県教育委員会の後援で開催され、今回は3年前に続き2回目の開催でした。

参加校は江津高校、浜田商業高校、石見養護学校、そして本校の4校でしたが、矢上高校、益田東高校、飯南高校の3校は映像上演のみで参加されました。

14日（日）には松江入りして綿密なりハーサルを行い、翌日の本番を迎えました。

午前中の上演が終わり、午後1時過ぎからは各参加校からの代表生徒によるプレゼンテーションが行われました。これは、「細かすぎて伝わらない、神楽の魅力」と題して、代表生徒がそれぞれに神楽との関わりや好きなどを観客の方々に披露するものでした。島根県立大学地域政策学部の西嶋一泰先生が進行役をお務めになり、それに応えて部長が上手にプレゼンテーションを行いました。

そして午後2時過ぎに私たちは「道返し」を上演いたしました。日頃の練習の成果を十分に発揮できたと思います。

今回も練習時から指導してくださっているOBの方々がおいでになり、私たちの上演を手伝っていただきました。ありがとうございました。

引き続き邇摩高校石見神楽部へのご声援をよろしく申し上げます。

